

岩国空港

【実施主体：個社】

岩国空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	元売会社へ委託料見直しを交渉	所員の処遇改善、労働環境整備のため、賃金ベースアップを実施するため受託料の引き上げ交渉協議中ですが現時点では厳しい回答を受けています。	
【短期】 賃上げを含む処遇改善に不可欠な受託料の引き上げ	検査会社への委託料の見直し	本社にて、R5年度に引き続きR6年度契約料金の引き上げを実施。	
【短期】 人材確保にマイナスに働く受託契約の内容の適正化（キャンセル料の設定 等）	人員6名体制(2交代制)から7名体制増員へ交渉協議中	現行業務内容を安全面、社員の体調管理面からも早番遅番の2交代制勤務(2名常駐)6名体制での運営は大変難しく所員の有給休暇が取得できない等多々問題をかかえており7名体制への移行が必須と考えます。	7名の増員が厳しい為、業務改善（給油作業のワンマン化）等により、6名体制での運営を現時点では協議中
【短期】 職場環境改善に向けた取組の推進			
【短期】 職員負担の集中を回避するための正確な現状把握	委託先の生産体制など定期的に確認している。	委託先本社採用部門と委託元本社と交えて生産計画や採用計画を確認している。	
	肉体的な負担を軽減していかねばならないため人員6名体制(2交代制)から7名体制増員へ交渉協議中	体の体調管理、精神的負担軽減のための交代制ですが合計4名での運営で2名が公休となります。この人員では有給休暇取得可能な人員には達していないため、1名増員へ向けた交渉をしている。	7名の増員が厳しい為、業務改善（給油作業のワンマン化）等により、6名体制での運営を現時点では協議中
	定期的な人員不足状況の把握	社員募集への応募が少なく人員不足な状況の中、業務量に偏りがいか人員の不足状況を毎月把握。	
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	2名作業での給油対応	ワンマン給油資格を保有していますが、体調急変時の事務所運営の危機回避、及び航空機機材の関連もあり2マン、2名体制での作業としています。	2名作業での給油対応をできる範囲にて、給油以外の業務改善（給油作業のワンマン化）
【短期】 適切な業務量調整による高負荷の抑制	若年層に対する積極的な業務資格付与	若年層のステップアップを図るため積極的に教育訓練・業務資格付与を行ない、業務に関する負担の均一化を目指す。	
【短期】 採用活動の推進（グラハン経験者採用の強化（Uターン・Iターンの活用）等）			
【短期】 教育期間の短縮に向けた工夫（実践技術に特化した訓練等）			

【実施主体：個社】

岩国空港

項目	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 需要回復の進捗状況に応じた、限られたリソースの集中的な投入			
【中期】 長期に誇りを持って勤められるキャリアパスの整備			
【中期】 ハード・ソフトの両面からの職場環境改善の推進			
【中期】 特定技能制度の積極的な活用			

【実施主体：空港会社等】

岩国空港

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
【短期】 空港内の労働環境の改善			
【短期】 空港の知名度を生かした採用活動			
【短期】 マルチタスクを担うことができる空港人材の育成に向けた研修			
【短期】 空港WGの活用推進			
【中期】 GSE車両の共用化・共有化の推進			
【中期】 男女比の極端な偏りの解消に向けた取組推進（「旅客は女性」等のイメージ払拭、更衣室等の施設整備 等）			

【実施主体：地方自治体】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 地元グラハン会社・検査会社とのコミュニケーション強化（人員体制等の正確な現状把握等）</p>			
<p>【短期】 空港業務は地域の雇用を支える地場産業であるという観点から、部局横断的な連携の下での取組の実施</p>			
<p>【短期】 空港業務支援も誘致支援の一部と位置付けた上での関係部局（観光、産業振興 等）と連携した支援の実施</p>			
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>			
<p>【中期】 地方経済を支える空港業務の担い手が真に求めている支援措置の検討（空港アクセスの不便さ等を考慮した住居支援、通勤支援 等）</p>			
<p>【中期】 特定技能の在留資格を有する外国人が地域に馴染むための環境整備</p>			

【実施主体：国】

取組事項	具体的取組事例	取組内容	備考（効果等）
<p>【短期】 各地の空港におけるベストプラクティスの横展開</p>	<p>各地の空港におけるベストプラクティスの情報提供</p>	<p>各団体が、空港業務を持続可能なものにしていくための取組を検討・実施する際に、参考とするため、航空局HPにて公表された20事例を空港WGを通して情報提供。</p>	
<p>【短期】 地域の意欲的な取組への積極的な協力（空港説明会への参画等）</p>	<p>説明会への協力・参画及び空の日を通じたPR等</p>	<p>説明会への協力・参画（受付や案内の協力、空港見学の実施）、空の日を通じたPR等。</p>	
<p>【短期】 生産性向上・業務効率化の実現に向けた取組支援</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金</p>	<p>R4補正補助金の活用に向けた積極的な周知・取り纏め等。</p>	
<p>【短期】 各主体による取組の重要性の発信</p>	<p>ありがとうポスターの周知・掲示</p>	<p>ポスターの作成意図について職員へ周知を行うとともに、庁舎内の来客の目に触れる場所へ掲示。</p>	
<p>【短期】 空港WGの活用推進</p>	<p>国が公募している補助金制度を岩国空港WGへ情報提供</p>	<p>国が公募している補助金事業の概要について空港WGの関係事業者へ情報提供を実施。</p>	
<p>【中期】 空港DXの導入促進に向けた実証実験</p>	<p>他空港の導入事例等の横展開</p>	<p>空港WGにおいて、航空局HPに掲載されているベストプラクティス等の他空港事例について横展開を行った。</p>	
<p>【中期】 更なる支援措置等の検討</p>	<p>地方空港等受入環境整備事業費補助金制度の活用推進</p>	<p>空港WGにおいて、航空・空港関係者の人材確保・育成等、生産性向上に資する取組や国際線の受入環境高度化の推進に係る補助事業の活用について検討を行った。</p>	